

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査 分析

## 【国語】

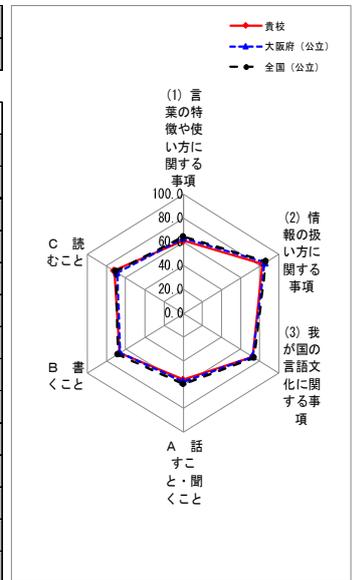
### 集計結果

対象児童数		東大阪市立石切小学校	大阪府（公立）	全国（公立）
		119	64,339	947,364

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)			
			貴校	大阪府（公立）	全国（公立）	
全体			14	66	66	67.7
学習指導要領の内容	知識及び技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	4	60.9	63.4	64.4
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	83.2	85.5	86.9
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	1	73.1	72.6	74.6
	思考力、判断力、表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	55.7	57.3	59.8
		B 書くこと	2	66.8	65.9	68.4
		C 読むこと	3	72.3	69.0	70.7
評価の観点	知識・技能	6	66.7	68.6	69.8	
	思考・判断・表現	8	64.7	63.9	66.0	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	10	67.5	68.0	69.9	
	短答式	2	54.6	58.7	59.7	
	記述式	2	66.8	62.3	64.6	

### <学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



### 全体として

- 正答率は全国・大阪府とほぼ同等（東大阪市平均より3%上）。
- これまで「書くこと」に課題があったが本年度は大阪府平均を上回っている。
- 短答式問題の正答率が低く、記述式の問題の回答率は全国・大阪府を上回っている。  
➡ 「書く力」は改善されている。

### 正答率が大阪府・全国に比べて低かった問題

- 「きょうぎ（競技）」を漢字に替える  
 (34.5% 大阪府 41.4% 全国 43.4%)。
- 問題文全体（4ページ）を構造的に把握し、部分と部分の関係を読み取る問題。  
 (57.1% 大阪府 61.9% 全国 63.8%)
- 話し言葉を相手に分かりやすいよう工夫する（順序に気を付ける、短文で話す）。  
 (66.4% 大阪府 74% 全国 75.9%)
- 資料（メモ）の内容から、考えたことを読み取る。  
➡ 説明文を論理的・構造的に把握することに課題がある。

### 正答率が大阪府・全国に比べて高かった問題

- 述語に対する主語を読み取る  
 (71.4% 大阪府 65.4% 全国 72.6%)
- 登場人物の心情を描写をもとに読み取る  
 (68.1% 大阪府 61.9% 全国 62.3%)  
➡ 物語文の心情理解や全体像を理解することが得意である。  
 【研究授業の成果がでている】

## 【算数】

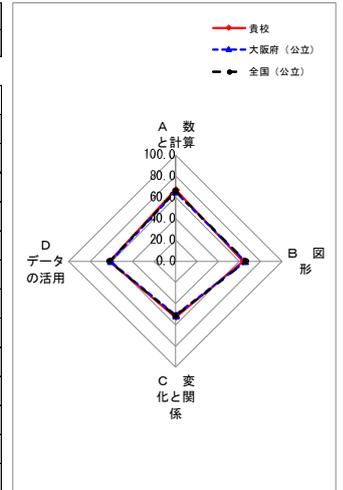
### 集計結果

### <学習指導要領の領域の平均正答率の状況>

対象児童数		東大阪市立石切小学校	大阪府（公立）	全国（公立）
		119	64,385	947,579

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)		
			貴校	大阪府（公立）	全国（公立）
全体			63	63	63.4
学習指導要領の領域	A 数と計算	6	67.1	65.3	66.0
	B 図形	4	63.4	65.2	66.3
	C 測定	0			
	C 変化と関係	3	52.7	50.9	51.7
	D データの活用	4	61.8	60.9	61.8
評価の観点	知識・技能	9	74.1	71.9	72.8
	思考・判断・表現	7	49.8	50.5	51.4
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	5	75.6	74.5	75.3
	短答式	7	62.2	61.2	62.0
	記述式	4	50.6	50.1	51.0



### 全体として

- 正答率は大阪府・全国とほぼ同等（東大阪市平均より5%上）。
- 大阪府・全国と正答率が大きく乖離している分野はない。

➡ 直近5年間でもっとも良好な結果

### 正答率が低い問題

- (解答の理由を) 言葉や数を使って書く。  
(31.9% 大阪府 29.2% 全国 31%)

➡ 根拠をもとに問題には書いていない内容を推測することが難しい。  
問題の内容をイメージする力が弱い（本質的に理解できていない）  
論理的思考が弱い。もしくは慣れていない。

### 正答率が高い問題

- 問題の文章と図または式が直感的につながる（イメージできる）選択式の問題  
(91.6% 大阪府 88.1% 全国 88.5%)

➡ イメージしやすい問題は得意  
以前に経験のあるパターンの問題は得意



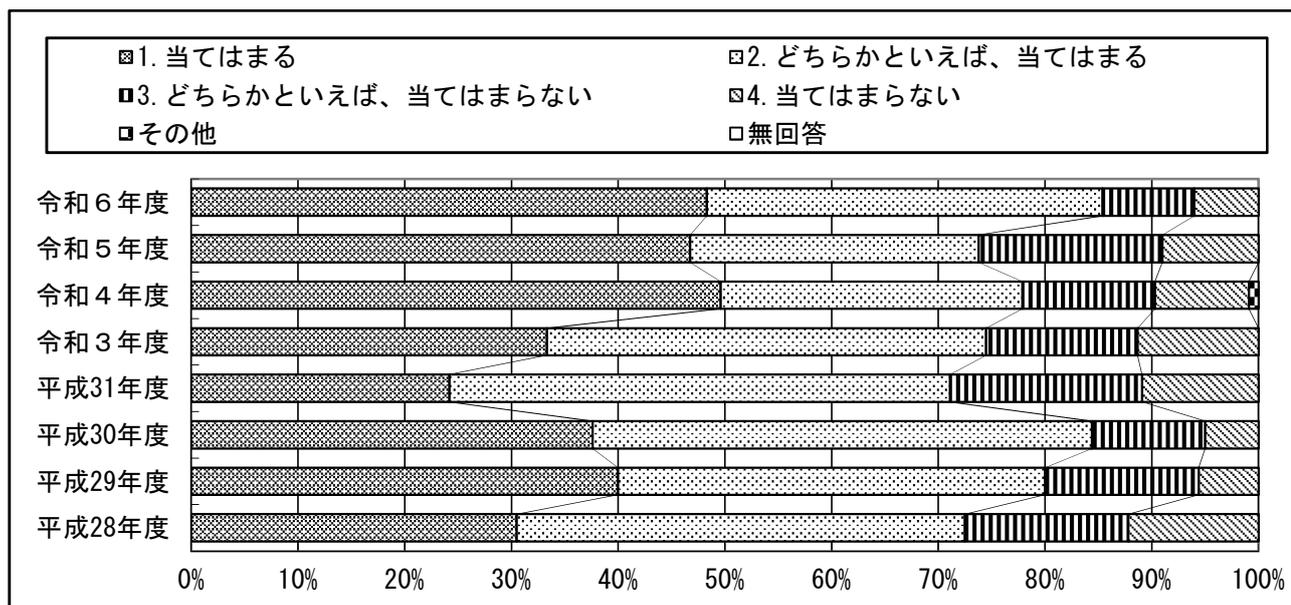
国語、算数ともに、図や式で

イメージする力がポイント

【授業のUD化、問題の図式化、解答を説明する（書く）経験を増やす】

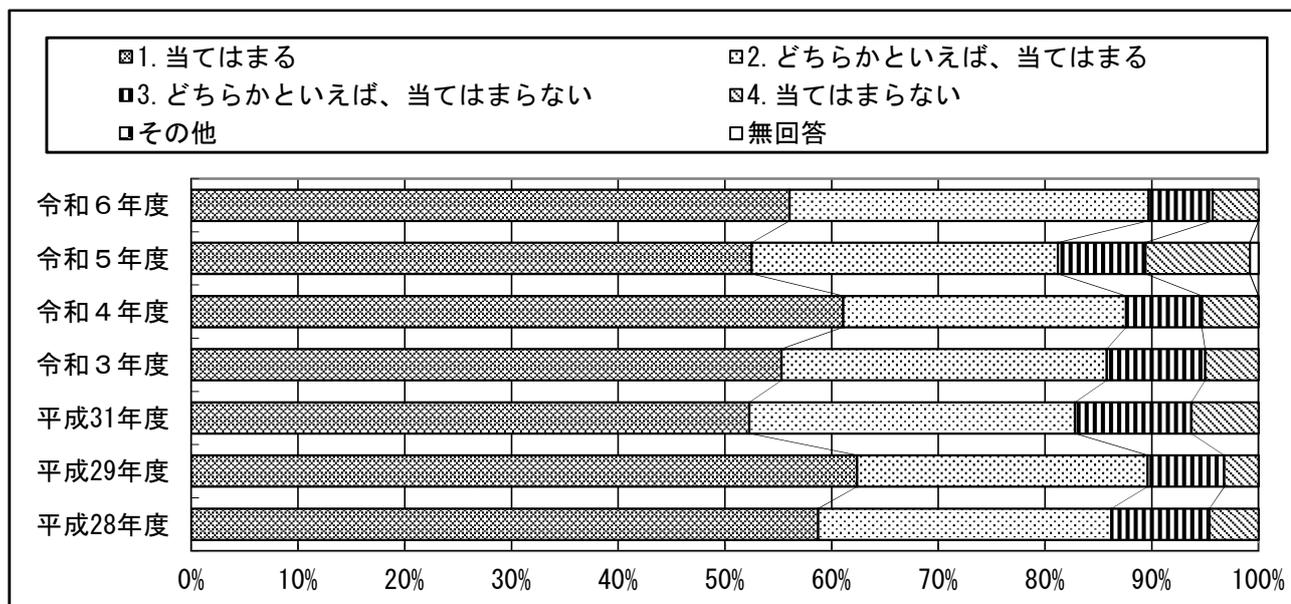
【質問紙調査】

No.9 「自分には、よいところがあると思いますか」



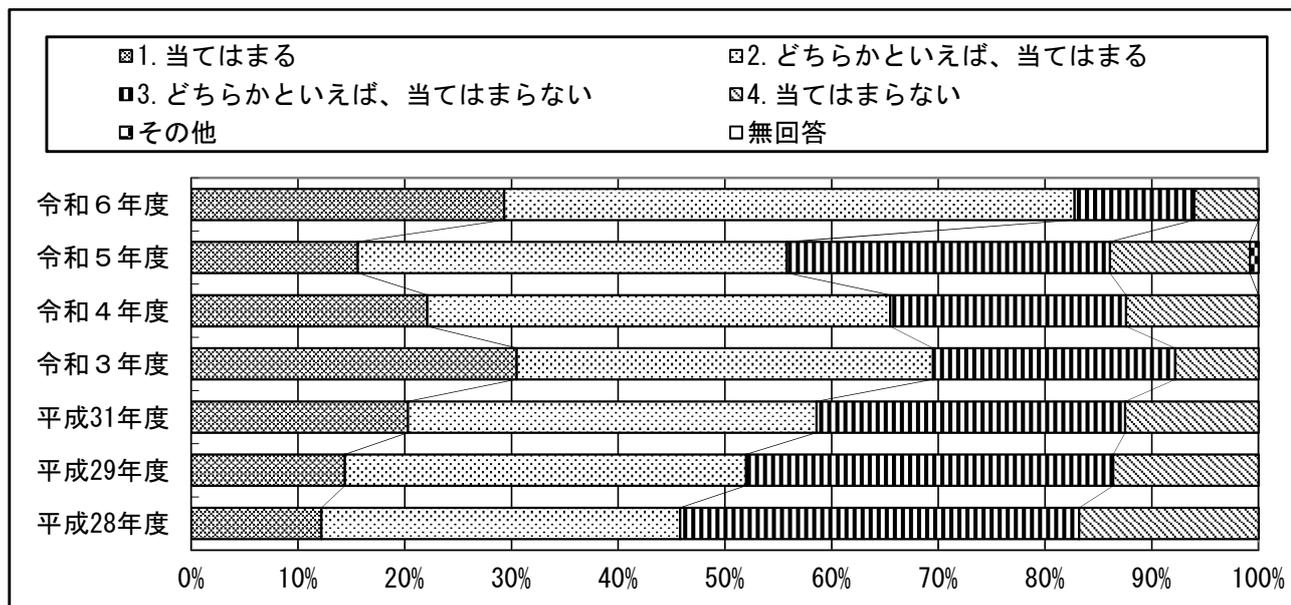
近年ではもっとも高い。

No.16 「学校に行くのは楽しいと思いますか」



直近6年間でもっとも高い。スクリーニングシート、学年会での情報交換などが成果を挙げていると考えられる。またNo.39にみられるように自治活動が心理的安心感を育てていると考えられる。

No.39 「あなたの学級では、学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法を決めていますか」



学級会を中心に自治活動に取り組んでいたことが反映されている。No.9 やNo.16 との相関関係がみられる。